

報道各位

物流領域のデジタルサービスプロバイダー18社が8月に「物流DX会議」を開催**各物流システム間の共通インターフェース構築によって
物流の社会最適を目指すプラットフォームの形成を目指す**

クラウド録画サービスシェア No.1 (※1) のセーフィー株式会社（東京都品川区：代表取締役社長 CEO 佐渡島 隆平、以下「セーフィー」）は、8月23日（金）の10時より、物流デジタルサービスプロバイダー18社による共催セミナー「物流DX会議」を開催します。

物流DXは協調領域を明らかにすることからはじまる——

第2回 物流DX会議

8つの連携、物流ITベンダーの本気。

物流DX会議は前回開催から1年を経て参画企業が3倍に拡大しました。物流の2024年問題に直面するこの1年の間、物流の行く末に危機感を募らせる参画企業同士が連携を模索。自然発生的に生まれた、8つの物流向け連携事例をお知らせできることになりました。

進化する物流DXを
目撃せよ。

8/23
午前10時配信開始

Logos of participating companies: AIO!, スマイルボードコネク, KURANDO, ROMS, YE DIGITAL, C.Net, KANTSU, STRASOL Architects, APT, +Automation, ロジザード株式会社, Geek+, ハコベル, monoful, CAMCOM GROUP, LYNA, safie, FURUNO.

2023年8月24日に実施した「物流DX会議」の第2回であり、物流2024年問題の解決のため6社が手を取った前回から1年、参加企業数は3倍の規模に拡大し、特別ゲストも迎えて更に白熱した議論をお届けする予定です。

(※1) テクノ・システム・リサーチ社調べ「ネットワークカメラのクラウド録画サービス市場調査（2023）」より、エンジン別カメラ登録台数ベースのシェア（54.1%）

■ 物流DX会議を開催する背景と概要

荷主（発荷主・着荷主）と物流事業者（3PL、倉庫会社、運送事業者）が連携してモノを運ぶ物流業界では、限られた物流リソース（車・倉庫・人）を社会全体で最大活用することが肝要です。しかし、各工程で個別のデジタルサービスが複数存在し、上流と下流の情報伝達をアナログに頼ることもまだ多い現状におい

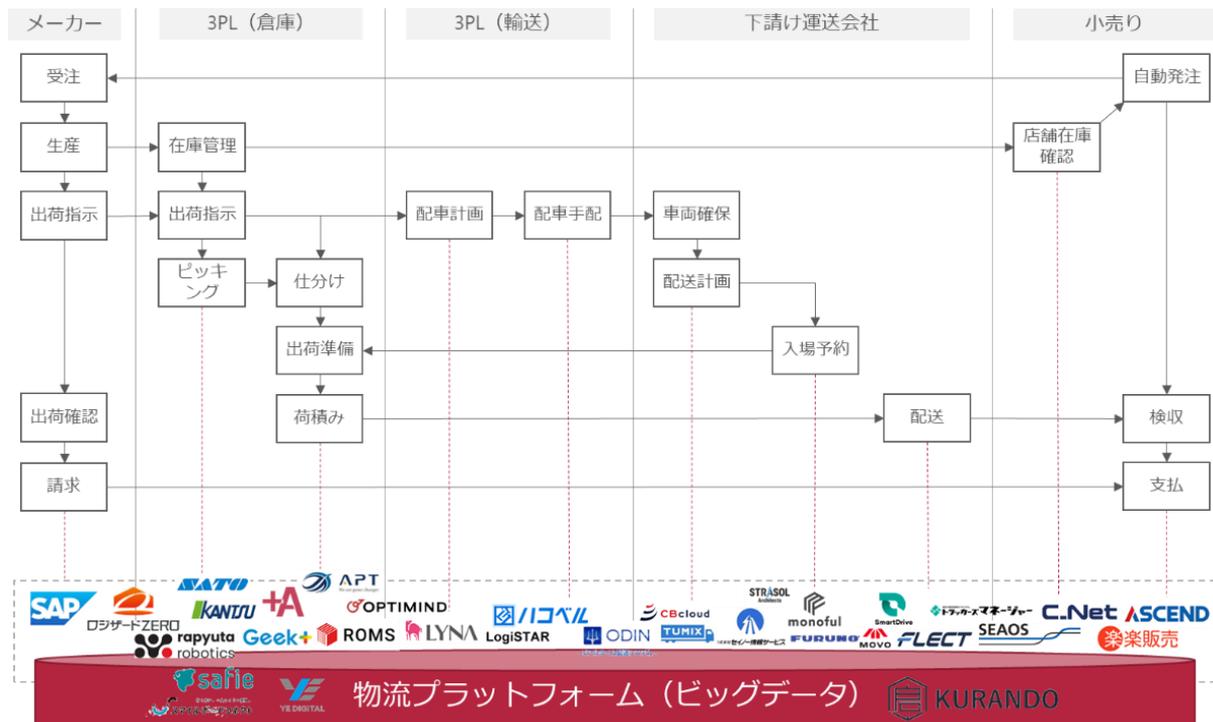
ては、最大活用のための連携も限定的であるのが実態です。

2024年4月から3か月が経過し、人手不足をはじめとする様々な課題解決のための対策も待たなしの状況の中、各デジタルサービス同士の競争やユーザー側のシステム選択の自由を担保しながら、各工程のシステムが“つながる”ための取り組みが必要とされています。

前回はその取り組みの第一歩として、現状の個別最適（※個社単一拠点・単一工程のデジタル化）の限界と、各システムが繋がった未来のビジョンを語る、という“総論”がパネルディスカッションで語られました。今回は“各論”として、複数のシステム間で実際に連携した事例を、ユーザー企業の声とともにお届けします。前回に続き、LOGISTICS TODAYの赤澤編集長がメインモデレータを務めます。

今後ますます佳境に入ってゆく物流危機への対策として、デジタル化は避けられないことは明白です。更に物流領域の根本課題を解決するには、デジタルサービスの提供者側が「協調領域」としてシステム間の連携を担保し、誰でも社会の物流リソースにアクセス可能なプラットフォームを形成することが不可欠です。そのためには、より多くのデジタルサービスプロバイダーやユーザー企業（荷主企業・物流事業者）、官公庁や業界団体などの参画が必要です。

是非このイベントをご視聴いただき、次回以降のご参画をご検討いただければ幸いです。



【イベント概要】

- 開催日時：2024年8月23日（金）10時～17時30分
- 形式：オンライン（Youtube 配信）
- 参加費：無料

- 定員：800人（事前申込必須）
- 申込期限：2024年8月22日（木）17時（※アーカイブ視聴も事前申込必須）
- 申込ページ：<https://www.logi-today.com/635873>

■クラウド録画サービス「Safie（セーフィー）」とは

Safieはカメラとインターネットをつなぐだけで、いつでもどこでも映像を確認できるクラウド録画サービスシェア No.1 のサービスです。

「映像から未来をつくる」というビジョンのもと、人々の意思決定に映像をお役立ていただける未来を創造し、企業から個人まで誰もが手軽に利用できる映像プラットフォームを目指しています。



我々は「映像データであらゆる産業の“現場”をDXする」というビジネスコンセプトを掲げ、小売り、土木・建設、製造、医療などのあらゆる現場のDXを率先して推進しています。

セーフィーは、データガバナンスに関する下記指針を遵守すると共に、ステークホルダーの皆様と協調して啓発活動にも取り組んでおります。また、社外有識者よりプライバシー保護などに関する助言を受けながら、指針及び実務上の運用基準の見直しを行っております。

データガバナンスに関する取り組み：<https://safie.co.jp/csr/advisoryboard/>

データ憲章（2022年4月1日発行）：

https://bucket.safie.link/pdf/csr/advisoryboard/safie_data_charter_JP.pdf

映像から未来をつくる

【セーフィー株式会社の会社概要】

所在地 東京都品川区西品川 1-1-1 住友不動産大崎ガーデンタワー

設立 2014年10月

代表者 佐渡島 隆平

事業内容 クラウド録画型映像プラットフォーム「Safie」の開発・運営および関連サービスの提供

サービスサイトURL <https://safie.jp/>

コーポレートサイトURL <https://safie.co.jp/>

採用ページ <https://safie.co.jp/teams>

【本件に関するお問い合わせ先】

事務局代表

プラスオートメーション株式会社

田口 智士

info@plus-automation.com

セーフイー株式会社

<https://safie.jp/>

Email pr@safie.jp

池上 紗耶香 / 070-1523-3240